

第2弾! 特別講演

福島原発から何を学ぶか?

二度の現地調査をふまえて

主催：立命館大学国際平和ミュージアム

2011年6月29日(水)

16:45~18:00(開場16:30)

立命館大学衣笠キャンパス 明学館96号教室(4階)

聴講無料・定員400名

講師：安齋育郎

立命館大学名誉教授/国際平和ミュージアム名誉館長/安齋科学・平和事務所所長
(専門：放射線防護学・平和学)

当館の安齋育郎名誉館長は、「もの言う放射線防護学者」として、福島原発事故について積極的に発言し、事故発生後、直ちに『福島原発事故 どうする日本の原発政策』(かもがわ出版)や『食卓の放射能汚染』(同時代社)などの本も刊行してきました。4月、5月には福島の現地を訪れ、放射能災害の実態を調べるとともに、被曝のリスクを減らすために何ができるかについて、人々の疑問に応える活動にも取り組んできました。3月に開催した緊急特別講演に続く今回は、二度の調査もふまえつつ、私たちが未来にむかってどうすべきかを考えます。

どなたでも参加できます。事前申込みは不要ですが、満席の場合は入場をお断りすることがあります。



安齋育郎 プロフィール

1940年、東京・下町生まれ。東京大学工学部原子力工学科第1期生、工学博士。東京大学医学部助手をへて、1986年、立命館大学経済学部教授、88年、国際関係学部教授。1995年より国際平和ミュージアム館長、2008年4月より名誉館長。立命館大学名誉教授。国際平和博物館ネットワーク・諮問委員。原爆忌全国俳句大会・実行委員長。中国の南京国際平和研究所・名誉所長。ベトナム政府より「文化情報事業功労者記章」受章。2011年2月、久保医療文化賞を受賞。「国境なき芸術師団」名誉会員。

開催中!

立命館大学国際平和ミュージアム 特別企画

写真展 東日本大震災の現場から
同時開催

「安齋育郎名誉館長、福島原発被災地に行く」



土壌汚染を調べるため、土を採取する安齋名誉館長。

東日本大震災発生直後から被災地で取材を続けている、日本ビジュアル・ジャーナリスト協会(JVJA)のメンバーが撮影した写真約20枚をパネル展示。同時に安齋育郎名誉館長が福島原子力発電所周辺地域を訪れ、放射線レベルの測定や汚染土壌の採取を行った様子などを紹介しています。

【展示期間】 開催中 ~ 7.30(土)

【会場】 立命館大学国際平和ミュージアム
1階ロビー

【開館時間】 9:30~16:30

【休館日】 月曜日(7.18(月・祝)は開館、7.19(火)は休館。)

参観無料(常設展・特別展の参観には別途入館料が必要です。)

主催：立命館大学国際平和ミュージアム

企画協力：日本ビジュアル・ジャーナリスト協会(JVJA)

【お問合せ】立命館大学国際平和ミュージアム TEL：075-465-8151 FAX：075-465-7899
〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1